

主題「自然を愛する」

ねらい：自然の生命力と崇高さを知り、自然に謙虚に向かい合いながら自然の愛護に努めようとする実践意欲を育てる。

●導入

自然を見て「美しい」と感じたことや自然の神秘に触れた体験を思い出してみよう

補助 ・自然の美しさや神秘さに息をのんだ経験をあげさせる。

※過去に自然に触れたときの感じたことなどを振り返らせる。

●範読（7分）

●場面発問①

「木を救う仕事ではなく、木に宿る生命力を高めるための手伝いしているだけ」と塚本さんが思うようになったのはなぜだろう？

- ・手を尽くしても救えない木もあった
- ・土の中の問題を解決するために木の声を聞き、木と対話をしてきたから
- ・樹木医の仕事をとおして人間と木の関係性が「救ってやる」といった上下関係でない気づいたから

補助 真剣に樹木を見つめて木を中心とした仕事を積み重ねている姿をどう思う？

- ・すごい！
- ・なかなかできない
- ・樹木に真摯に向き合っている。
- ・樹木を人間と同じように接している
- ・木が本当に好きなんだな

●場面発問②

塚本さんがこの大藤は移植できる、と確信できたのはどうしてだろう？

- ・元気な葉をつけていたから
- ・今まで研ぎ澄ましてきた感覚で木の声を聞き、その生命力に気づくことができたから

補助 常識を超えているといわれる大事業に、まずは木に話を聞くという塚本さんの姿勢をどう思う？

- ・木を第一に考え愛している（木にほれ込んでいる）
- ・今まで取り組んだことをまげない。
- ・木との信頼を第一に考えている（木一筋）

●場面発問③

樹木に祈りをささげ、その声に耳を澄ます、塚本さんの姿から何を学ぶことができるだろう。

- ・樹木の生命力を信じて大切にすること
- ・自然を尊敬すべき対象として謙虚に接すること

補助 塚本さんが自然と謙虚に向かい合っていることをどう思う？

- ・自然を愛している。
- ・自然と人間と同じに見ている。

●主題発問

自然と人間が共生するためにできることは何だろう？

- ・自然を大切にすること
- ※自然も人間と同じく生きている。
- ・人間も自然から守られているので自然を守る。
- ・人間も自然のことをもっと考えて生きていく。
- ・自然にもっと触れ愛する心をもつ。
- ・自然から受けていることに感謝する。

自然の画像を見せて美しさや神秘さをイメージさせたい。

teacher の2021入学(1年生)の道徳に木の声を聞く(自然画像)をパワーポイントで作成しています。必要であれば活用ください。

どんな大事業だろうとも根本的な姿勢を崩さずに取り組んでいることにも気付かせたい。

塚本さんの姿勢とは反対に人間が自然を破壊した結果災害などを起こしていることも例にあげるとつかみやすい。

社会や理科で学習したことや環境協力の関連を図れるようにする。人間が自然を切り開き開発しているといった上からの目線ではなく、自然から人間もたくさんの恩恵を受けていることにも気付かせる。